

日本祭り開会式 大使挨拶

2018年2月23日

皆様、こんにちは。

今回、初めてこの重要な州であるミナス・ジェライスを訪れました。第7回目にもなる日本祭りのオープニングに参加することができ、大変うれしく思います。日本の豊かな文化や伝統を様々な形でミナスの方々に広めることを目的としたこのミナスの日本祭りは、2012年第1回目が開催されて以来大成功を収めていると聞いています。

このすばらしいイベントの開催に長年ご尽力されている主催者、スポンサー及び関係者の方々、ベロオリゾンテのウィルソン・ブルーメル日本国名誉総領事とその職員の方々に敬意を表する次第です。

東京とベロオリゾンテの間は1万8000キロ以上離れていますが、その距離をものともせず、経済分野における意見交換や事業立案、さらには人的交流やその他様々なプロジェクトにおいて、連携・協力してきました。

第7回の開催となる今回の日本祭りは、日本ブラジル移民110周年である2018年に開催されるという点で特別な意味を持っています。1908年の最初の日本人移住者のブラジルへの到着以降、移住者と日系人の方々はブラジルの地に様々な形で日本の文化を伝えてきました。

今日のこのイベントに参加されるすべての方々が、文化交流促進の

ため考え抜かれた様々なプログラムを楽しんでいただければと思います。

最後に、改めて本日このオープニングセレモニーに出席できたことに喜びを感じながら、日本とミナス・ジェライス州の一層の緊密化を祈念して、私のあいさつの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。